

人間福祉学部 相談援助実習プログラムの内容と特色

相談援助実習(3年次夏休み:4週間)

[実習の目的・ねらい]

1 週目の実習においては、相談援助実習における「職場実習」、「職種実習」、「ソーシャルワーク実習」のうち、職場実習にあたる内容について取り組み、職場の構造(仕組み)と機能(働き)を全体的に理解することを目指す。

1 週め職場実習での学びを踏まえて、職種実習およびソーシャルワーク実習に取り組む。職種実習では、職場における実習指導者の職種の位置づけと業務内容を全般的に理解する。ソーシャルワーク実習では、実習指導者の専門性を現しているソーシャルワーク実践の実態を理解し、実習生自らがソーシャルワーク実践を試行することをめざす。

[1 週目:実習の内容の概要]

- ① 現場における業務の実際を知る
- ② 現場における仕事のルールを知る
- ③ 援助技術習得にむけた問題意識を深める
- ④ 第2段階に向けた打ち合わせと計画の見直し

[2~4 週目:実習の内容の概要]

- ① 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。
- ② 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。